RØDE®
MICROPHONES



NT4

取扱説明書



株式会社サウンドハウス
〒286-0044　千葉県成田市不動ケ岡 1958
TEL:0476(22)9333　FAX：0476(22)9334

御使用になる前に説明書を御一読ください。

スペック

カプセル：ステレオ XY 方式採用の 13mm コンデンサートランスデューサ×2

Active Electronics：J-FET 抵抗コンバータ（バイポーラ出力バッファー付き）

Pickup Pattern：単一指向性

出力抵抗：200Ω

周波数特性：20Hz～20kHz

感度：-38dB re 1volt/pascal（12mV @ 94dB SPL）±2dB

等価ノイズ：16dB 以下

最大出力：+13.9dBu @ 1% THD into 1k

ダイナミックレンジ：128dB 以上

最大 SPL：143dB @ 1% THD into 1k

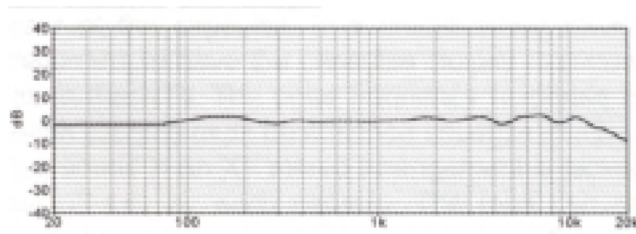
S/N 比：78dB

所要電源：ファンタム電源 P48、P24、P12、または 9V 電池

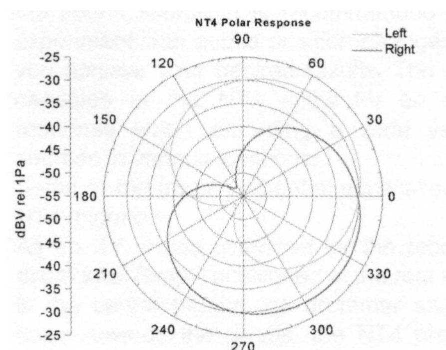
全体重量：2.3kg (マイク本体のみ 480g)

寸法：直径 32mm、全長 232mm

周波数特性



POLAR PATTERN



NT4 の特徴

・XY 方式採用ステレオコンデンサーマイク

・マッチングカプセル

・ファンタム電源、9V 電池でも駆動可能

・耐久性に優れたサテンニッケル仕上げ

・XLR5 ピン-XLR3 ピンステレオ仕様ケーブル、XLR-ステレオミニフォンケーブル付属

・専用ウィンドシールド付属

・サーフェスマウント・トランスレス回路

・専用ケース、専用マイクケーブル付属

付属アクセサリー

・WS4 ウィンドシールド

・専用キャリング・ケース

・RM3 マイク・ホルダー（3/8”-5/8”変換ネジ付き）

・専用ステレオ・マイクケーブル 2 本（デュアル XLR、XLR-ミニステレオフォン端子）

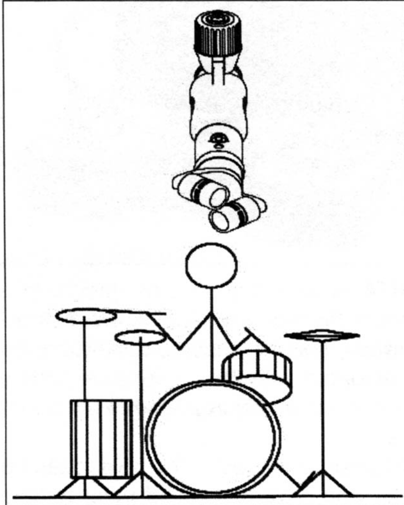


NT4 は取り扱いが簡単なステレオ・コンデンサーマイクです。コーラス、オーケストラ、ドラム用オーバーヘッド、ソロ演奏やアンサンブルなどの様々な録音環境に対応し、本物のステレオ仕様マイクでしか味わうことのできない「エアー感」を再現します。

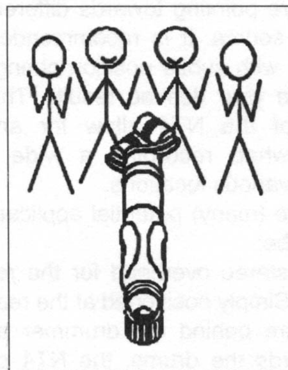
NT4 に採用された直径 13mm の 2 つのカプセルは単一指向性です。単一指向性マイクは、正面からの音をよくピックアップします。横や後ろ側からの音を遮断することで、録音の対象ではない反響音や会衆からの音のレベルを下げます。これは特に NT4 のようなマッチングした 2 つのカプセルを搭載している場合にとても重要です。本体を回転させ軸を変化させることで音源に対するマイクの向きがかわり、録音するトーンも変化します。マイクを設置するポジションを変化させることで、様々な録音サウンドを試して下さい。

以下は、NT4 のアプリケーションの一例です。

ドラムレコーディング：ドラムの後部の高い位置か、ドラムに向かって斜めの角度からの録音によりリアルなドラムサウンドを再現します。2 本のマイクの角度などを調整する必要がないので、セットアップはとても簡単です。

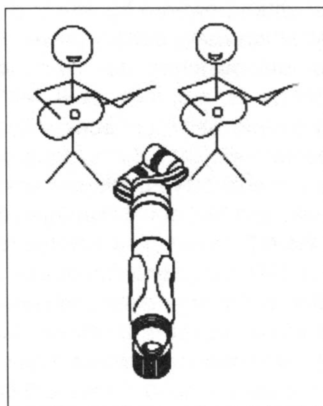


スタジオ内やライブステージでのコーラス録音：コーラスグループの正面から中心に向けてマイクを設置します。マイクとコーラスとの設置距離は、録音する音響環境やボーカリスト自体の音声量などによって異なります。マイクとコーラスの距離が近ければ低域もより強調されます。



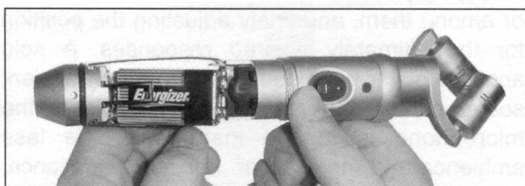
NT4 をグランドピアノの上から設置して録音すれば、本物のピアノのステレオイメージを忠実に再現することが可能です。

アコースティックギター（デュエットやアンサンブル演奏）も、マイクのポジションを必要に応じて変えることにより、求めているステレオサウンドを得ることが可能です。アコースティックギターのソロ録音にも適しており、ギターとの距離を近づければギターの音をよりはっきりと捉えることができます。録音する空間全体の音を再現するためにはギターとの距離を離して下さい。



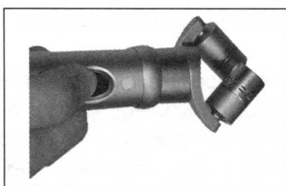
NT4 の基本セットアップ方法：

1. ファンタム電源か 9V 電池のいずれかを使用して下さい。
2. プロ仕様のミキシングコンソールには通常ファンタム電源供給がありますが、もしもついていない場合には外付けのファンタム電源でも問題ありません。
3. 9V 電池を使用する場合、+/-極を確認して下さい。NT4 本体の下部を回して取り外し、電池を入れて下さい。スプリングクリップで電池をしっかり取り付けてから、本体に戻して下さい。



4. ON/OFF スイッチによる本体電源の ON/OFF を切り替えます。9V 電池で駆動する場合、マイクを使用しない時には電源を OFF にして下さい。電池の浪費を防ぎます。長期にわたりマイクを使用しない場合には、電池を取りはずしてください。電源を ON にすると赤い LED が約 1 秒ほど点灯し、「電池がある」ことを表します。LED が点灯したままであれば、「電池の交換時期」を表しますので、LED にて電池の状態を確認して下さい。電池の寿命は、高品質アルカリ電池であれば約 400 時間です。

5.　付属のデュアル XLR ケーブルを使用すればミキサーの２つのチャンネルにダイレクトに接続できます。ステレオの左右は L と R のマークを確認して下さい。



6.　マイクホルダー（RM3）が付属しています。マイクスタンドに取り付けて使用して下さい。

7.　NT4 には 2 種類のケーブルが付属されています。デュアル XLR 仕様と、ステレオミニジャック仕様のケーブルにより様々な機材に対応できます。ファンタム電源供給の有無に関わらず、ミキサー、DAT プレーヤー、Mini-Disc プレーヤーなどにすぐに対応できます。

8.　ミキサーの電源を ON にしてファンタム電源が NT4 に供給されると、マイクが正常に機能するまでに数秒間かかります。注意：ファンタム電源を使用する場合に、電池の有無は NT4 のサウンドに影響を与えません。

9.　ノイズや音の歪を最小限に抑えるために、音楽ソースのピークの際に PPI（ピークプログラムインジケータ） LED が点滅するように使用するミキサーの入力ゲインコントロールを調整して下さい。PPI ない場合には、実際の音をモニターしながら歪まないように調節して下さい。音の歪が発生する場合には、音が安定するまで徐々にゲインを下げて下さい。

10. 追求する音を得るために、EQ 設定をフラットな状態（ブーストやカットをしない）からスタートして下さい。マイクを設置するポジションにより、サウンドに大きな効果・影響を与えますので、その点を考慮してマイクの位置を調節して下さい。コンデンサーマイクは強風にとても敏感なので、ウィンドシールドなどを活用してください。付属の WS-4 は風の強い野外録音では効果が弱いため、Rycote（www.rycote.com.）のようなヘビーデューティータイプのものを使用して下さい。

11. コンデンサーマイクですので湿気のない状態で保管してください。

12. NY4 はプレシジョントランスを使用しているので、衝撃を与えないよう注意して下さい。使用後には柔らかい布で拭き、乾燥剤と一緒にケースに保管してください。乾燥剤は通常水色で、湿気に触れるとピンクに変化し、ピンクの状態では乾燥剤としての機能が低下しています。100～150℃のオーブンなどを使用して水色に戻るまで乾燥させて下さい。